

(学校番号010) 令和4年度版「学力向上ポータルフォリオ(学校版)」【浦和別所小学校】

① 4月26日 目標・策		
知識・技能	・学校評価の児童アンケート「授業の内容がよく分かります」の「そう思う」の数値を75%以上(R3年度73%)さいたま市学習状況調査「算数の授業の内容はよく分かりますか」の肯定的な回答の数値を90%以上にする。	⇒ ・算数科の授業で前時までの学習の振り返りを適宜行い、学習内容を思い起こした中で学習に向かえるようにする。既習の内容を教室に掲示することで必要に応じて既習事項を想起したり、既習事項を生かして課題に取り組んだりできるように環境を整える。
思考・判断・表現	・「よい授業」の4つの因子④児童生徒の活動「問題の解決に向け、友達同士で話し合う時間がある」の数値を1回目のアンケートより2回目のアンケートの数値を向上させる。	⇒ ・校内研修で取り組む算数科の授業づくりの中で意図的に発表する場を設定する。自分の考えや思いを大切に、適切な場面、人数で児童同士の話し合いが行われるような取組を学校全体として考え、日々の授業で実践していく。
主体的に学習に取り組む態度	・さいたま市学習状況調査の「算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか」の肯定的な回答を85%以上(R3年度83%)にする。「算数の勉強は好きですか」の肯定的な回答の数値を2pt以上向上させる。(R3年度67.9%)	⇒ ・算数科の授業の中で児童にとって身近な日常の中から課題を提示する等、興味をもたせる工夫をする。また、自分の考えをもつ場面を設定する。その際、児童に合わせた支援を行ったり、解決に向けた姿勢を評価したりするなど児童の主体的な姿勢を引き出す工夫を行う。

③ 9月1日 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)			
知識・技能	変更なし	⇒	変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒	変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒	変更なし

② 8月22日	
全国学力・学習状況調査結果・分析	
R4年度の全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R3年度の全国学力・学習状況調査の結果と比較し、国語では+4pt、算数では+2ptであった。全国の正答率との比較では、特に算数で、「被乗数に空位のある乗法」や「数量と割合の関係」、理科で「日光の動きについて」が平均正答率を上回る数値が他の領域よりやや低かった。	
R4年度の全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R3年度の全国学力・学習状況調査の結果と比較し、国語では+0.1pt、算数では+4ptであった。全国の正答率との比較では、算数で、「示された場面から除法の立式の理由を記述すること」、「伴って変わる数量関係から比例を使って未知の数量を求めること」、理科で「観察の結果の分析をして考えをもつこと」で平均正答率を上回る数値がやや低かった。	
R4年度の全国学力・学習状況調査「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」の質問項目において全国平均は上回っているが、38%であった。各教科では、「算数が好きですか」・「理科が好きですか」の質問項目で平均以上であるが、国語と比較すると数値が低い。「学校に行くのは楽しい」の質問項目では、高い数値がでている。楽しく学校に登校できていて、学習でも理解力が高いので、興味関心を引く課題や発展的な内容、生活にかかわる内容を取り入れるなど工夫した授業づくりを行う。また、自分の考えをもたせ、考えを伝え合う活動を取り入れ、自分の考えに自信をもてるようにするとともに授業の中でも失敗を恐れずに育んでいく。	

④ 2月00日 さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

⑤ 2月00日 成果指標に対する達成状況			評価(※)
知識・技能			
思考・判断・表現			
主体的に学習に取り組む態度			

⑥ 3月00日 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

※評価
 A 8割以上(達成) C 4割以上(あと一歩)
 B 6割以上(概ね達成) D 4割未満(不十分)